

平成 30 年 11 月 20 日更新

組織名：（一社）沖縄市観光物産振興協会

管理団体の概要

団体名	沖縄市観光物産振興協会	所在地	沖縄市上地 1-1-1 コザミュージックタウン内
電話（FAX）	TEL 098-989-5566 FAX 098-989-5567	メール	info@koza.in
設立年月日		所属組織	
平和教育関連 事業概要	職員数		
	事業名		
	事業概要		
体験メニュー	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）		
平和講話	沖縄市の戦後、基地との共存 をテーマに講話		
基地のまち KOZA を歩く	嘉手納基地の門前町として栄えたま KOZA、基地のまちの歴史や現状をガイドとまち歩きを行う、（見て、聞いて、感じる）体感型平和学習		

組織名：沖縄県観光ボランティアガイド友の会

管理団体の概要

団体名	沖縄県観光ボランティアガイド友の会	所在地	豊見城市豊見城 236
電話（FAX）	098-856-6441（6565）	メール	
設立年月日	平成 9 年 8 月	所属組織	
平和教育関連 事業概要	職員数	44 名	
	事業名	平和ガイド、歴史ガイド	
	事業概要	修学旅行生や観光客、あるいは県内の小中高校生を沖縄戦の戦跡や琉球王朝の史跡に案内説明をする。また沖縄戦体験者などの講話派遣も行う。	
施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）		
案内するガマ	轟壕、ヌヌマチ、糸洲壕、山城本部壕、アンディアガマ、白梅の塔下のガマ（糸満市） 糸数壕（南城市）、ちびちり、シムク（読谷）、南風原陸軍病院壕		
資料館等	県立平和祈念資料館、ひめゆり資料館、旧海軍司令部壕、対馬丸記念館		
米軍基地	普天間基地(嘉数高台)、嘉手納基地、辺野古、など		
戦跡	荒崎海岸、米須海岸、平和祈念公園、健児の塔、魂魄の塔、など県内各地の慰霊塔		
歩いて学ぶ平和 ★フィールドワーク	「沖縄戦の学徒の足跡をたどる」 2、5 時間～4 時間 1、「ひめゆり学徒の足跡を歩いてたどる」		

	ひめゆり平和祈念資料館～第一外科壕～山城本部壕～（バスも可能）～荒崎海岸（米須海岸） 2、「鉄血勤皇隊をたどる」 平和祈念公園工業健児の塔～平和の礎～摩文仁の丘～師範健児の塔～チンガー～海
--	--

組織名：沖縄平和ネットワーク

管理団体の概要

団体名	沖縄平和ネットワーク	所在地	那覇市首里赤田町 3-26 コルネットハウス 5-B
電話（FAX）	098-886-1215 098-882-2777	メール	なし
設立年月日	1994年10月10日	所属組織	
平和教育関連 事業概要	職員数	会員数約 180 人(全国)、派遣ガイド講師数約 20 人を含む	
	事業名	平和ガイド講師、平和講話講師派遣	
	事業概要	沖縄戦や基地問題について、住民/生活者からの視点から調査・研究、学習を重ねながら、その実態を発信するための平和ガイド講師および平和講話講師の派遣を行っています。	
施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）		

組織名：旧海軍司令部壕事業所

管理団体の概要

団体名	旧海軍司令部壕事業所	所在地	豊見城市字豊見城 236
電話（FAX）	098-850-4055(9342)	メール	kaigungo@ocvb.or.jp
設立年月日	昭和 45 年 3 月	所属組織	（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
平和教育関連 事業概要	職員数	11 名	
	事業名	-	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・壕の建設から使用まで日本兵のみという全国的にも特殊な海軍壕の見学を通して、兵士の目から見た戦争の悲惨さを生徒へ知って頂くきっかけとしている。 ・平和講和（15 分程度、毎日無料で実施、数百名単位を一度に実施可能） ・平和ガイド（毎週金曜 20 名限定、無料で実施） 	
施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）		
旧海軍司令部壕	戦時中に掘られた壕だが地面や天井が舗装されているため、軽装での入壕が可能。大型バス無料駐車場 10 台完備。		

--	--

組織名：公益社団法人 青年海外協力協会 沖縄事務所（JOCA 沖縄）

管理団体の概要

団体名	公益社団法人 青年海外協力協会 沖縄事務所（JOCA 沖縄）	所在地	浦添市伊祖 1 丁目 1 番 21 号 502 号
電話・FAX	098-943-7801 098-943-7802 (FAX)	メール	joca-okinawa@joca.or.jp
設立年月日	1983 年	所属組織	受付窓口： 浦添市観光協会（098-874-0145） urakan@urasoenavi.jp
平和教育関連 事業概要	職員数	7 名	
	事業名	開発途上国の人々のために自分の持つ技術や経験を生かし活動してきた「青年海外協力隊」の帰国隊員を中心に組織されている、公益社団法人。青年海外協力隊で培った精神とその経験を広く地域社会に還元し、グローバル人材育成に貢献。	
	事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開発途上国等における国際協力事業並びに国際交流・国際理解の促進及び普及・啓発に関する事業 2. 災害復興支援及び、平和構築に関する事業 3. 国内外の援助機関・国際協力団体等との協力及び連携に関する事業 4. 多文化共生社会づくり支援及び、国際化を含む地域の活性化に関する事業 5. 地方公共団体等と協働し、地方創生を目的とする様々な分野を巻き込む総合的な新しいまちづくり事業及びその人材育成事業 5. その他この法人の目的を達成するために必要な事業 	
施設名		施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）	
国際協力機構 沖縄センター		<p>コース A（所要時間：3 時間コース、料金：1 人あたり 2500 円）</p> <p>・講話：体育館や多目的室にて、青年海外協力隊員の体験談を聞く。また、沖縄特有の歴史・気候から育まれてきた経験・技術が、開発途上国で必要とされており、その実践者から体験談を聞いたり、沖縄独自の国際協力事例について学びましょう。</p> <p>コース B（所要時間：2～3 時間程度、料金：1 人あたり 2500 円）</p> <p>・愛着ウォーク：グループに分かれて、指定されたコースをクイズに答えながらゴールへ進むウォークラリー形式のプログラム。</p> <p>コース例：浦添城址スタート、JICA 沖縄センターゴール。</p> <p>クイズ例：「ハクソーリッジは何があったところ？」、「沖縄戦で艦砲射撃の標的となった岩（ワカリジー）を米軍はなんと呼んでいた？」</p> <p>ミッション例①：答えがわからない場合は、地元の人に聞き、地域の人と交流する。</p>	

	<p>ミッション例②：沖縄ならではのスーパー「ユニオン」や「かねひで」に立ち寄り、沖縄らしい商品を見つける。（事務局から 300 円支給）</p> <p>クイズラリー終了後、同世代の沖縄県民や在住外国人と一緒に、フィールドワークやディスカッションなどの交流を通じて、互いの価値観をぶつけ合う交流プログラム。</p> <p>ディスカッション例：「あなたと世界の繋がりについて」「平和を風化させないために」</p> <p>※愛着ワークを含めたグローバル人材基礎カトレーニング、国際交流・地元の人との交流プログラムなどあり。（所要時間：6 時間コース、料金 4000 円）</p> <p>その他</p> <p>自己表現・自己開示ワークショップ、チームビルディング、スポーツプログラムなどあり。</p>
--	--

組織名：公益財団法人 対馬丸記念会 対馬丸記念館

管理団体の概要

団体名	公益財団法人対馬丸記念会 対馬丸記念館	所在地	那覇市若狭 1 - 2 5 - 3 7
電話（FAX）	(TEL) 098-941-3515 (FAX) 098-863-3683	メール URL	info@tsushimamaru.or.jp http://www.tsushimamaru.or.jp
設立年月日	2004(平成 16)年 8 月 22 日	所属組織	日本平和博物館会議
平和教育関連 事業概要	職員数	8 名	
	事業名	対馬丸平和祈念事業	
	事業概要	対馬丸事件の概要や遺影・遺品の展示、語り部活動などによる平和発信事業	
施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）		
対馬丸記念館	<p>対馬丸事件とは、1944(昭和 19)年 8 月 22 日、疎開者 1,661 名を乗せた船「対馬丸」が敵潜水艦の攻撃により撃沈され、1,400 名以上の犠牲者を出した事件。犠牲者の約 70% にあたる 1,040 名は 0 歳～15 歳の子どもたちだった。</p> <p>当館は「子どもと平和」について学び、考えてもらう施設となっている。</p>		
	<p>生存者、遺族の講話、スタッフによる概要説明、映像視聴、見学後、生徒及び引率先生のフリーディスカッション会場の貸し出し等</p>		
	<p>詳しくは、お問い合わせください（098-941-3515）</p>		

組織名：地域ガイド風の会（風の会）

管理団体の概要

団体名	地域ガイド（風の会）	所在地	沖縄県読谷村都屋 272-6
電話（FAX）	098-982-8739（8713）	メール	
設立年月日	-	所属組織	-
平和教育関連 事業概要	職員数	10名	
	事業名	-	
	事業概要	修学旅行（小学校～高校）の講話、ガイド案内、フィールドワークなど多種多様に活動。	
施設名		施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）	
チビチリガマ		読谷村内の2つのガマと座喜味城跡をローテーションで案内することもある。	
シムクガマ			
座喜味城跡			

組織名：特定非営利活動（NPO）法人 うらおそい歴史ガイド友の会

管理団体の概要

団体名	特定非営利活動（NPO）法人 うらおそい歴史ガイド友の会	所在地	浦添市仲間 2 丁目 53-1
電話（FAX）	098-874-9345	メール	uraoerekisi@nirai.ne.jp
設立年月日	2004 年	所属組織	受付窓口： 浦添市観光協会（098-874-0145） urakan@urasoenavi.jp
平和教育関連 事業概要	職員数		
	事業名	平和学習、ガイドツアー	
	事業概要	多くの人々に対して、浦添グスクを中心とした、市内の史跡や文化財の案内に関する事業を行い、人々が歴史と文化に興味を持ち、広く親しむことで、浦添市における文化の発展に寄与することとする。	
施設名		施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）	
浦添グスク・ようどれ館		〒901-2103 沖縄県浦添市仲間 2 丁目 53-1 時間：9：00～17：00 休館：月曜、年末年始（12月28日～1月31日） 「浦添グスク・ようどれ館」内に NPO 法人うらおそい歴史ガイド友の会の事務局があり、ようどれ館の窓口業務やガイドツアーを行っている。 <u>ガイドと巡る平和学習を浦添で！</u> (所要時間：1 時間程度、料金：1 人あたり 1400 円)	

	<p>①映像鑑賞：浦添グスク・ようどれの紹介映像。 琉球王国誕生の伝説や浦添の王様たちの紹介など8つのプログラムがあり、事前学習やフィールドワークにも活用できる。</p> <p>②浦添ようどれ墓室レプリカ見学：浦添グスクとようどれの発掘調査での出土品や、戦前のパネルなどを展示。浦添ようどれ西室（英祖王陵）内部を実物大で復元したレプリカの展示。</p> <p>③ガイドツアー：うらおそい歴史ガイド友の会の専任ガイドによるツアー。 コース例：浦添ようどれ案内板スタート→軍地壕跡（内部の落盤や土砂の堆積が激しく、中に入ることは不可）→展望台周辺（沖縄戦で米軍が最初に上陸した慶良間諸島を見渡し、米軍が沖縄本島の読谷・嘉手納・北谷への上陸開始から前田高地周辺での激戦の説明※映画ハクソーリッジの説明等）→前田高地平和の碑→クチチグァーガマ周辺→ディーグガマ周辺を巡る。</p>
--	--

組織名：NPO 法人自然体験学校

管理団体の概要

団体名	NPO 法人自然体験学校	所在地	八重瀬町字具志頭 1 番地
電話（FAX）	098-998-0330（3808）	メール	fnorth@netbeet.ne.jp
設立年月日	平成 16 年 5 月 6 日	所属組織	沖縄体験観光協会 沖縄南部広域観光協会
平和教育関連 事業概要	職員数	職員 8 名	
	事業名	クラシンウジョウ壕・ヌマチガマ 入壕予約管理 沖縄南部・平和学習全般のコーディネート	
	事業概要	①クラシンウジョウ壕・ヌマチガマでの入壕体験における予約・入壕・安全管理 ②教育旅行などの平和学習において平和ガイドができる人材の育成講座開催。 ③平和講話講師の斡旋 ④ガマに入らない平和学習 ⑤戦績ガイド ⑥平和学習劇 ⑦ディスカッション調整中。その他ご相談に応じます	
施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）		

①クラシウジョウ壕入壕体験	・八重瀬町字具志頭（具志頭城址公園近く） ・平成 25 年 9 月より町・具志頭区・当団体で協定を結び、平和学習におけるガマへの入壕に係る管理を当団体が行うこととなった。 ・日本軍の陣地壕として整備された自然洞窟。
②ヌマチガマ入壕体験	・八重瀬町字具志頭（八重瀬町戦争遺跡公園内） ・白梅学徒隊 5 名が従軍していた自然洞窟。戦時中は野戦病院壕として利用された。
③平和講話	・戦争経験者、未経験者いずれも可。本州への講師派遣相談
④ガマに入らない平和学習	・八重瀬町内の戦跡を案内します。
⑤戦績ガイド	・荒崎海岸、米須海岸などのポイントガイドも手配可能。
⑥平和学習劇（元白梅学徒隊・中山さく氏監修）	・元白梅学徒隊・中山さく氏の証言を基にした平和劇の提供。基本は劇の公演ですが、ご希望があれば劇終了後に役者とディスカッション可能。要相談。 ※2018 年 12 月から稼働予定
⑦その他	沖縄県内高校生・大学生との平和についてのディスカッション、現在調整中。

組織名：ひめゆり平和祈念資料館

管理団体の概要

団体名	ひめゆり平和祈念資料館	所在地	糸満市字伊原 671-1
電話（FAX）	電話 098-997-2100 FAX 098-997-2102	メール	himeyuri1@himeyuri.or.jp
設立年月日	平成元年 6 月 23 日	所属組織	ひめゆり平和祈念財団
平和教育関連 事業概要	職員数	15 名	
	事業名	平和講話	
	事業概要	資料館の職員（説明員・学芸員）が、ひめゆり学徒の証言映像や写真をもとに、沖縄戦についてわかりやすく伝える。ひとりの体験者の視点で沖縄戦をたどっていくため、戦争が一人ひとりにどのような影響を与えたかを感じることができる。	
施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）		
ひめゆり平和祈念資料館	「ひめゆりの塔」の隣に位置し、「ひめゆり学徒隊」と呼ばれる 15 歳から 19 歳の女子学徒の沖縄戦体験を伝える資料館。大型スクリーンによる証言映像の上映、体験者の手記、壕の実物大模型などを通して、実際の戦場の様子を伝えている。		

組織名：(一社)うるま市観光物産協会

管理団体の概要

団体名	(一社)うるま市観光物産協会	所在地	沖縄県うるま市与那城屋平4番地先
電話(FAX)	098-978-1177	メール	info@uruma-ru.jp
設立年月日	平成23年3月31日	所属組織	
平和教育関連 事業概要	職員数	13名	
	事業名	①観光資源の保護、開発及び利用の促進 ②観光情報の発信・提供 ③観光に関する出版物の刊行 ④観光関係従事者の指導育成 ⑤観光客の誘致及び案内 ⑥観光に関する調査及び研究並び資料収集 ⑦観光イベントの計画及び実施 ⑧県内外での物産展、見本市等の計画及び開催 ⑨物産の販路開拓及び技術開発、研修会等の開催 ⑩特産品、土産品等の宣伝及び指導育成 ⑪地域団体の実施する観光事業、物産展、見本市等への支援・協力 ⑫地方自治体からの受託事業 ⑬国・県からの補助金事業 ⑭当法人の目的を達成するために必要な事業 ⑮その他観光振興、物産振興に関する事業	
施設名		施設概要(所在地、設置経緯、施設内容)	
宮森630会による平和学習 ※当協会へお問い合わせ下さい。		1959年6月30日午前10時40分頃、カデナ基地所属のF100ジェット戦闘機が石川市6区5班・8班(現うるま市石川松島区)に墜落し、その衝撃で撥ね上がり、2時間目が終了した後のミルク給食中の宮森小学校に激突、炎上しました。この事故により、宮森小学校の生徒が11名(後に後遺症で1名が23歳で死亡)、地域住民が6名死亡しました。 重軽傷者も210名に達し、住宅27戸、公民館1棟、校舎3教室を全焼。住宅8戸、校舎2教室を半焼させる大惨事となりました。 平和学習プログラムでは当時のパネル展示や実際に体験された語り部の方による講話を行っております。また、戦時中と、戦後最大の民間収容所が置かれたうるま市石川歴史民俗資料館では当時の貴重な資料もご覧いただけます。	
		■石川歴史民俗資料館 沖縄県うるま市石川曙二丁目1番55号	
		開館時間 9:00~17:00(最終入館16:30) 休館日 毎週月曜(祝祭日が重なると、翌日に振り替え休館) 祝祭日の翌日、年末年始(12月29日~1月3日)	
		■宮森630会の活動について	
		http://ishikawamiyamori630kai.cloud-line.com/katudou/	
施設名		施設概要(所在地、設置経緯、施設内容)	

CAVE OKINAWA ※民間事業者が運営のため 右記連絡先へ直接ご連絡を お願い致します。	沖縄県うるま市石川嘉手苅 479-1 TEL : 098-964-4888 FAX : 098-964-4890 携帯 : 090-9789-2094
	通称「ぬちしぬじガマ」沖縄戦の時に地元住民約 300 名が 3 か月ほどの避難
	生活を送ったガマ(鍾乳洞)。捕虜になるまで犠牲者は出ず、避難中には男女の 赤ちゃんが生まれたガマとして知られています。

組織名：南風原平和ガイドの会

管理団体の概要

団体名	南風原平和ガイドの会	所在地	南風原町
電話 (F A X)	098-889-7399 (0529)	メール	
設立年月日	平成 19 年 6 月	所属組織	
平和教育関連 事業概要	職員数	約 40 名	
	事業名		
	事業概要	沖縄陸軍病院 20 号壕の案内をし、沖縄戦を伝える。	
施設名	施設概要 (所在地、設置経緯、施設内容)		
沖縄陸軍病院 南風原壕群 20 号壕	沖縄戦時に、日本軍が黄金森と呼ばれる小高い森に沖縄陸軍病院壕群を構築。南風原町は沖縄戦の記憶を伝える為に、1990 年に文化財に指定し、2007 年 6 月に一般公開に至る。第二次世界大戦の戦争遺跡を文化財に指定したのは日本初。		
飯上げの道 (黄金森)			

組織名：(一社) 宜野座村観光協会

管理団体の概要

団体名	(一社) 宜野座村観光協会	所在地	宜野座村漢那 1646-4
電話 (F A X)	098-968-8787 (8331)	メール	toi-form@ginozanavi.com
設立年月日	平成 27 年	所属組織	
平和教育関連 事業概要	職員数	約 10 名	
	事業名	—	
	事業概要	これまでの沖縄の平和学習は、南部や中部といった激戦地が多く語り継がれてきました。そんな中、本村地域は沖縄県と沖縄守備軍によって南風原村・東風平村・玉城村などの住民避難地に割り当てられていました。1945 年 (昭和 20 年) 4 月～9 月、本村地域を占領した米軍第 6 海兵師団は、当地に民間収容地を設置した為、地元の人々・戦争の前に避難してきた人々・沖縄本島の中南部で米軍の捕虜となった人々で、人口は一気に 10 万人余りまで膨れ上がりました。その歴史を紐解き、宜野座村からみた沖縄戦～沖縄戦の	

	民間収容地〜と題し、紙芝居や地元ガイドによる解説
施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）
道の駅「ぎのざ」	沖縄県宜野座村漢那 1646-4
	宜野座村の地理的条件や既存施設等の立地環境を活用しながら、宜野座村ならではの歴史・文化・自然を活かした魅力を発掘・紹介し、多くの方に来村頂きリピーターや交流人口増加に寄与する拠点として、また、村民が集い交流できる施設。

組織名：有限会社 FEC オフィス

管理団体の概要

団体名	有限会社 FEC オフィス	所在地	那覇市安里 1-1-58 光生ビル 032
電話（FAX）	098-869-9506	メール	fec@nirai.ne.jp
設立年月日	1993.10.18	所属組織	
平和教育関連 事業概要	講演者数	約 2 名（出演者 20 名※講演内容によります。）	
	事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・賀数仁然「琉球歴史平和講演会」 ・小波津正光講演会 ・FEC『お笑い米軍基地』〜特別編〜 	
	事業概要	<p>賀数仁然(かかずひとさ)</p> <p>昭和 44 年 12 月 9 日那覇市生まれ。早稲田大学大学院人間科学研究科修了(生命科学専攻)。沖縄セルラー電話株式会社にて 10 年間勤務。キャラクター「au シカ」を開発し、社長賞受賞。2009 年有限会社 FEC(芸能プロダクション)にて文化事業部設立、歴史文化とエンターテインメントの融合をテーマに琉球・沖縄の歴史文化を様々なメディアを通して発信中。平和教育に置いては、基地賛成、反対のスタンスではなくあくまで中立的に問題提起として、受講者に考えさせる事をメインに講演中。</p> <p>小波津正光（こはつまさみつ）〜お笑い米軍基地企画・脚本・演出家</p> <p>講演会は「お笑い米軍基地」舞台公演時の映像等を使用し分かりやすい講話とディスカッションで展開。また希望により所属タレント・芸人が 10 名ほどの学生の円卓につき 1 人入り、振り返りを行い、議論を活発しかけ、舞台上の小波津がまとめて行きます。</p> <p>お笑い米軍基地〜特別編〜</p> <p>平和教育関連事業ではコント 6 本〜12 本&生徒参加型『米軍基地』に関するクイズ大会やディスカッションで展開。問題が大きすぎてがんじがらめになり、立ち止まって考えることが困難になりがちの基地問題を親しみやすいフォーマット（コント）にのせることで、生徒の考えるきっかけづくりになる様に制作。基地賛成、反対のスタンスはなく、中立的に問題提起として、受講者に考えさせる事をメインに公演している。</p>	

施設名	施設概要（所在地、設置経緯、施設内容）